

科目名	文章表現（文芸表現）					単位	2.0
担当教員	荻原 裕幸						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	1503

●授業のテーマ

日常的な言語表現と文芸表現との違いを考える。

●到達目標

一般的な日本語の表現と文芸表現との違いを知る。文芸作品の読解を進めながら、豊かな日本語の表現力を身につけるきっかけとする。

●学習内容(授業概要)

日本の文芸諸ジャンルの作品の読解を通して、文芸表現が、私たちが日頃イメージしている日本語といかに異質のものであるかを知る。また、新聞、雑誌、テレビで使われる表現や、会話、手紙、メールで使われる表現との比較によって、日常や社会において、文芸表現的な日本語が有効に活用できる場があるかないかを考える。授業内で短時間のシンプルな演習を行う。

●学習内容(授業計画)

1. 文芸表現とは
2. エッセイ（1）
3. エッセイ（2）
4. 評論（1）
5. 評論（2）
6. 小説（1）
7. 小説（2）
8. 小説（3）
9. 詩（1）
10. 詩（2）
11. 俳句／川柳（1）
12. 俳句／川柳（2）
13. 短歌（1）
14. 短歌（2）
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習については、基本的に不要だが、日頃から周囲にある日本語の表現に意識を向けるように心がけて欲しい。事後学習については、授業時にその都度要点を指示する。

●成績評価方法・基準

出席の状況、学習の態度、演習の結果、によって総合的に評価する。

●テキスト（必携）

授業時にプリントを配布。

●参考文献／その他
授業時に紹介する。

●履修上の注意
短時間の演習も行うので、十分に集中できる状態で臨むこと。